

第8回 大山崎町地域公共交通会議 会議要旨

日 時：平成25年5月23日（木） 午前10時 ～ 午前11時

場 所：大山崎ふるさとセンター 3階 ホール

出席者：

（委員） 江下 傳明 会長、有賀 正晃 副会長、平野 剛、庄 健介、河崎 浩一、
笠松 俊夫、筒井 基好、近藤 智彦、本多 幸雄、岸本 勝治、小西 和子、
野村 裕子、長谷川 央、山口 允己、吉田 友美、川合 宏和、湯瀬 敏之、
今西 伸之、村上 秀幸、小泉 満、加賀野 伸一、安田 久美子、斉藤 秀孝、
田村 聡

（事務局）企画財政課： 西村 淳、本部 智子、沖 和哉、江畑 博史
建設課： 辻野 学

（傍聴） 0人

会議次第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 報告

（1）昨年度の経緯

提案書及び資料1を用いて、事務局より昨年度の経緯の説明が行われた。

（2）提案を受けての取り組み

資料2を用いて、事務局よりバス事業者との調整事項を中心に説明が行われた。

4. 議題

（1）将来の町の地域公共交通に係る課題抽出

まず事務局より「将来の地域公共交通に係る町への提案について」を議論するための課題抽出についての提案があり、資料3の説明に加え、課題、特徴的な点および現状の良い点等について挙げていただくことを目的としている旨説明された。

【主な議論は以下の通り】

（委員A） 資料3で、下植野の地域を見ると、地域的なこともあって、ほとんどは長岡京市のほうに通院も買い物も出ていっているということになる。コミュニティバスがあれば、もう少し町内のほうに下植野の人も足が向く形になるのではないか。大山崎町の活性化とか、できるだけ自分の地元で何でも生活がで

きるようにしていきたいという思いがある。以前、子育て世代の前の方から意見が出ていたように、長岡京市のほうを回ってわざわざ阪急電車を使って公民館へ行くというようなことも言われているので、そういうことから見ても、町の中心のほうに行きやすい交通体系があればと思う。

(委員B) 今回資料3が出されて、これはこれなりに役立つかと思うが、第3回会議で出されたルート案についての議論を出発点とするのがよいのではないかというのが一つ目の意見である。

二つ目は、今日のこの会議から、タクシー、路線バス、コミュニティバスという、三つの柱で議論を総合的に進めていくのがよいのではないか。

三つ目は質問だが、資料3のシートに人口増加という欄がある。それはどういう意味か。転入促進というのはどういう意味か。

(事務局) まちづくり、まちの活性化ということを目的として、この項目を挙げている。転入促進は、例えば今町に住んでいなくて、町の外からこういうところだったら住んでみたいと思われるような交通の整備というのはどういうものかという意図であり、それによってまちが活性化するというような考え方もある。

(会長) この場でなかなか御意見、課題等をすぐに出すのは難しいようなので、委員の皆様には一度持ち帰っていただき、後日事務局へ意見として御提案をいただければと思う。いろいろな形で提出していただければ、それを事務局でまとめさせていただきながら、今度はそれを部会のほうに上げていくというやり方で整理をさせていただく。

(2) 住民部会の体制について

事務局より、昨年度承認された住民部会の具体的な進め方として以下の案が示された。

- 1) 住民部会委員への立候補については、会議終了後10日間をめぐり事務局へ意向確認書を送付することとする。
- 2) 住民部会の会長を、本会議において会長よりご指名いただく。
- 3) 住民部会のスケジュールを資料4に示す通りとする。

【主な議論は以下の通り】

(委員C) 住民部会の人数等についての説明が全然ないが、どういうふうにお考えか。

(事務局) どなたも立候補されないということは想定していないが、最低人数を決めるべきという御意見等があれば、今日この会議は住民部会の体制について議論する場なので、議題としてあげて、決定いただければと思う。

(委員C) 事務局は、対象委員は全て住民部会のほうに行くであろうという上で議論すると考えられていたのか。

(事務局) おおよそはそうのように想定していた。

(委員B) 町内会・自治会代表の3名の方の参加の仕方で、地域をそれぞれ代表することだが、個人の案を述べて可能なかどうかということを確認したい。

また、全体人数を数えると18名いて、若干多いという印象を持っている。町議員さんについては住民部会にわざわざ入っていただかなくてもよいのではないか。

(事務局) 結果として個人のご意見をいただくことになるかもしれないが、基本的に町内自治会長の皆様方については、その会の会長さんの代表ということで立候補をしていただいているので、できる限り地元でいろんな課題について戻していただいて、そうした中での地域の皆さん方とも御意見をくみ上げていただいた内容を中心に御発言していただきたいと考えている。

(委員D) 住民部会が始まって、拙速はよくないと思うが、2カ月ずつ間をあけないといけないのか。たとえば1カ月間隔とすれば、この部会も早く終了して、今後の方針を早く決定できるのではないか。

(事務局) 事務局としては、部会を開き、それに向かったの資料づくり、そして皆さん方に御提案をさせていただいて、御意見をお聞きさせていただく。当然この部会において会議録等も整理させていただく。そういう手続き的なところを含めると、どうしても2カ月に1度ぐらいのペースでないと実務的にも厳しいので、御理解いただきたい。

(会長) それでは、この部会についての進め方、及びこの部会について御承認いただくということで御確認をお願いします。

では、部会委員への立候補については、御手元の書類に記入していただいて、10日をめどに事務局へ送っていただければと思います。

続きまして、住民部会の会長につきましては、この会長が指名すると定められておりますので、私としては有賀副会長さんを御指名させていただきたい。

(副会長) 大役を仰せつかりまして、短期間に議論をまとめきれぬのかどうか、いささか心もとない気がしないでもないですが、どうかたくさんの方々に立候補いただいて部会に参加していただき、多方面に御意見をいただくということを頼りにしまして、努めさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(会長) ありがとうございます。

それでは、本日の会議は終了させていただきます。

5. 閉会